

With

J A 愛知厚生連広報誌

TAKE
FREE

4

2025.APR

【No.505】



病院特集

安城更生
病院



特集1 | 令和7年度事業計画 Digest

令和7年度事業計画 1 特集

Digest

少子高齢化による働き手の不足や診療報酬改定、物価高騰など厳しい事業環境の中、令和7年度がスタートしました。令和7年度事業計画には、地域医療を守り抜くために会全体で取り組んでいくべき内容を盛り込んでいます。本特集では、令和7年度事業計画を凝縮したダイジェスト版でご紹介します。

J A 愛知厚生連を取り巻く環境

少子高齢化の急速な進展

- 団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を迎え、高齢者人口は急増
- 2025年以降は高齢者の増加は緩やかになる一方、**生産年齢人口が急減**

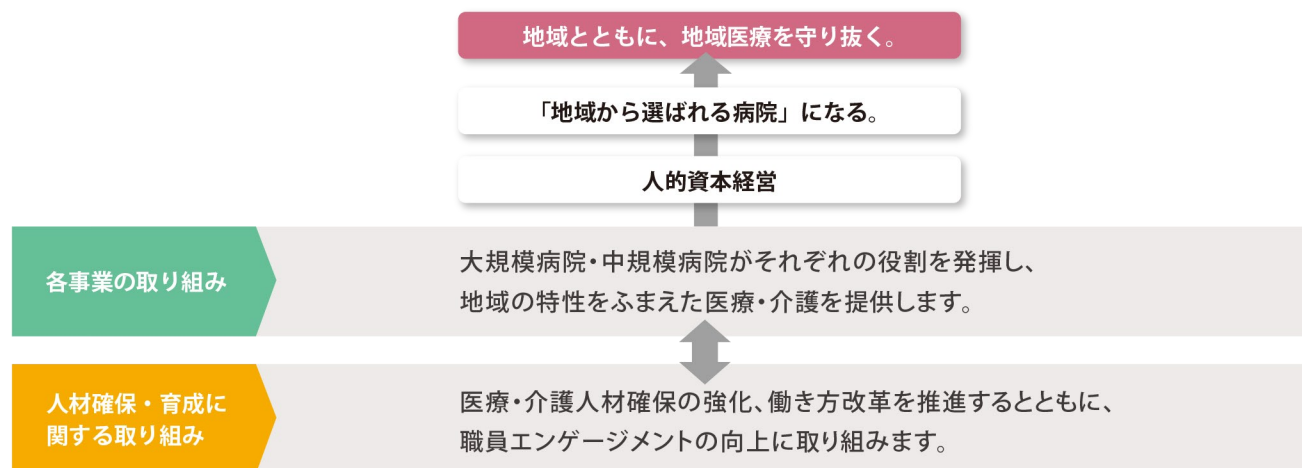
物価高騰によるコスト増

- 物価と賃金の好循環により経済成長の兆し
- 医療機関はコスト増を価格に反映できず、厳しい経営状況
- さらに**診療報酬の引き上げ・財政支援が必要**

医療・介護人材の不足

- 高齢者が増加する一方、生産年齢人口は減少しており、医療・介護人材の不足は深刻化
- 将来にわたって地域医療を守り続けるために**人材確保は喫緊の課題**

令和7年度事業計画の基本的な考え方



各事業の取り組み

01 医療事業

- 地域に必要とされる医療の充実を図るとともに、地域との連携を強化して「地域から選ばれる病院」を目指します。

大規模病院

地域医療の中心的役割を担います。

- 入院では、救急や手術を中心とした高度急性期・急性期医療の充実を図ります。
- 外来では、入院診療に注力するために適正化を行い、救急・紹介・健診後外来を拡大します。

中規模病院

その地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制を構築します。

- 入院では、急性期医療や在宅・施設で療養中の高齢者の急性増悪、急性期後医療の充実を図ります。
- 外来では、かかりつけ機能とともに在宅医療を強化します。

02 保健事業

- 生活習慣病の予防および疾病の早期発見に努め、質の高い健診を提供することにより、地域住民の健康維持・増進に貢献します。
- 組合員とその家族のウェルビーイング向上を目指し、J A 健康管理活動の充実を図ります。

健康管理活動の充実

組合員の健康に対する意識を高めるために料理教室や介護予防教室をはじめとする教育活動の充実を図ります。

情報発信の拡大

こうせいテラス.NETなどの健康づくりに役立つ情報発信の拡大やライフステージに合わせた支援を行います。

個々への支援の実施

J A 店舗で開催している健康相談「まちかど健康チェック」の実施を拡大し、一人ひとりに合わせた支援を行います。

03 高齢者福祉事業

- 地域全体で高齢者を支える社会の構築を目指し、地域に必要な介護サービスの提供を継続します。

ケアの質の向上

科学的介護情報システム(LIFE)等を活用し、アウトカム評価を参考にケアの質の向上に取り組めます。

介護機器・システムの活用

見守り機器や介護ロボットの導入を検討し、安全な介護の提供と職員の負担軽減に向けて取り組めます。

地域全体で業務効率化

厚生労働省が進める業務負担軽減などを目的とした「ケアプランデータ連携システム」のモデル事業に参加します。

※アウトカム評価…提供するケアが利用者の生活にどのような影響を与えたのかを数値などで具体的に評価したもの

人材確保・育成に関する取り組み

01 医療・介護人材確保の強化



- 本部人事部に採用専門部署を設置し、学校訪問や説明会の充実を図るなど採用活動を強化
- 高年齢者の活躍促進を目的に定年年齢引き上げを開始
- 看護専門学校は、多様なニーズに対応できる看護師を養成

02 働き方改革による生産性向上



- 医師の時間外労働の上限規制等への対応するためにタスクシフトを推進
- 育児介護休業法に対応した柔軟な働き方を新たに整備
- RPA等のDXを活用した業務負担の軽減

03 職員エンゲージメントの向上



- 成長が実感できる職場づくりを目指し、J A 版ウェルビーイング活動を実践
- 職員エンゲージメント調査を実施・検証
- 人材育成を推進するために各職種のラダーの着実な整備

臨時総会 全議案原案通り可決

令和7年3月28日、J A あいちビルにおいて臨時総会が開催されました。

第1号議案 第78年度(令和7年度)事業計画の設定について

第2号議案 令和7年度における役員の報酬額の決定について

附帯決議案 この総会において決議した事項のうち、権利義務に関係しない軽微な事項の修正及び違算、誤字の訂正並びに法令その他行政庁の指示等により補正変更を必要とする場合には、その主旨に反しない範囲内においてその変更を代表理事理事長に一任する。

以上の議案について承認可決されました。



地域の課題解決に向けて、
挑戦し続ける。

安城更生病院 心不全 多職種 チーム

2
特集



「心不全」は高齢の方を中心に急増しており「**心不全パンデミック(大流行)**」ともわれています。心不全は再入院が多く、患者さんのQOL※の悪化が問題とされています。この問題を地域全体の課題ととらえ積極的に活動しているのが安城更生病院の心不全多職種チーム(以下、心不全チーム)です。今回はチームの取り組みをご紹介します。

※QOL…Quality of Life(クオリティ・オブ・ライフ)の略称。医療現場では患者さんの身体的・精神的・社会的などすべての生活の質を意味する。

トピックス

1

患者さんの情報を一括で 把握できる 「心不全テンプレート」

チーム発足後、「心不全テンプレート」を作成しました。これまで各職種が各々の手段で指導内容を入力していたカルテ記載を、テンプレートに集約・管理することで**患者さんに必要な情報がすぐにたどり着ける**ようになりました。



▲電子カルテに入力する
「心不全テンプレート」

何を記載してどう運用するか、最初は全くの手探りでしたが、何が患者さんのためになるのかを考えて数回バージョンアップを繰り返して今に至ります。

2

「心不全」を知ってもらう・共有する 積極的な対外活動で幅広い方々へ 情報発信

心不全患者さん・ご家族への情報発信だけでなく、早期発見に向けた地域への啓発活動や医療従事者への情報共有も積極的に行っています。

更新するのは大変ですが、心不全に関わる全国の医療従事者、そして心不全患者さんとそのご家族に少しでも役立つ情報が共有できれば嬉しいです。



▲登録1,280名は以上。療養生活支援のための内容を発信中

「心不全チーム」の立ち上げ

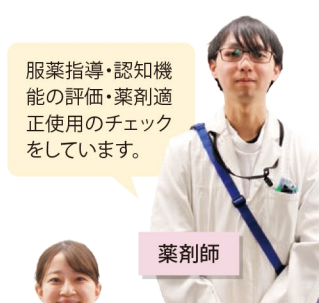
心不全を悪化させないためには、リハビリや食事(塩分過多)、薬の管理(飲み忘れ)など患者さんが行う自己管理も重要です。しかし、これまでの生活を見直し継続していくことは簡単なことではありません。患者さんの病状と生活に合わせた管理をしていくためには、**医師を含めた専門知識をもつ多職種スタッフの協力が必要不可欠**なため、2015年から心不全チームを立ち上げ、院内外で積極的に活動しています。

心不全チームで活躍する各職種の主な役割



診療の統括をしています。

医師



服薬指導・認知機能の評価・薬剤適正使用のチェックをしています。

薬剤師



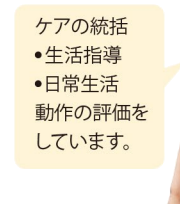
栄養指導・低栄養や食不振への対応をしています。

管理栄養士



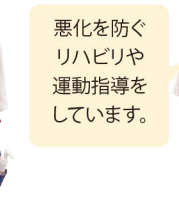
患者さんの不安や塞ぎ込みがちな気持ちに寄り添い、支援しています。

心理士



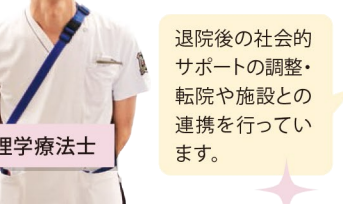
ケアの統括
・生活指導
・日常生活動作の評価をしています。

看護師



悪化を防ぐ
リハビリや運動指導をしています。

理学療法士



退院後の社会的サポートの調整・転院や施設との連携を行っています。

ソーシャルワーカー／
退院コーディネーター

3

「心不全パンデミック」に向けた地域との連携の輪

心不全の管理は、退院後の方が長く重要です。心不全と上手に付き合うためには地域のかかりつけ医療機関との連携が欠かせません。そこで、**患者さんのケアに関する情報も地域と連携**できるよう、紹介状の仕組みを整えたり、地域の医療従事者を対象とした勉強会や保険薬局とのワークショップを定期的に行うなど、安城市だけでなく**西三河全体でより良い心不全管理**が行えるように取り組んでいます。



▲地域全体のレベルの底上げを目的に開催している「西三河心不全多職種連携セミナー」。連携の輪が広がっています

メッセージ

当チームの強みは、各スタッフが意見を言いやすく、お互いを理解しようという風土があるところです。多職種が有機的に結びついていることが、身体機能低下の防止と入院期間短縮に繋がっていると感じています。新たな知見も取り入れつつ、チーム全体が広い視野を持って、この活動を続けていきたいと思っています。



循環器内科代表部長
植村 祐介さん

TOPICS
1~3月

Hot Topics

JA 愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

2/23 稲沢厚生病院

須ヶ脇老人クラブで認知症予防の健康講話を開催しました。

2月23日、稲沢厚生病院は須ヶ脇老人クラブにて「みんなでやろう、認知症予防体操」をテーマに健康講話を行い、約40名にご参加いただきました。太田理学療法士から認知症予防体操を行う意義や効果をお話し、実際に体操を体験していただきました。体操は手先を使うものが多く、参加者のみなさんは真剣な表情で取り組んでいました。講話の後には多くの質疑応答があり、認知症予防への関心の高さが伺われました。



3/4・5・7 看護専門学校

看護専門学校の卒業式を行いました。



3月上旬、更生看護専門学校（安城市）、愛北看護専門学校（江南市）、加茂看護専門学校（豊田市）の3年生101名がそれぞれの学校で卒業式を迎えました。コロナ禍で制限のあった学校行事も徐々に再開し、仲間と支え合いながら充実した学校生活を送ることができた3年間でした。卒業生たちは、2月16日に行われた国家試験を乗り越え、4月からは看護師としてJA愛知厚生連の配属病院で勤務します。地域医療を担う一員としての活躍を期待しています。

3/8 安城更生病院

創立90周年記念式典を開催しました。

3月8日、安城更生病院は「創立90周年記念式典」を開催し、地域医療に関わる多くの方にご列席いただきました。昭和10年の開院時には45床であった病床数も地域のニーズに応じて規模を拡大した結果、現在では771床となり、西三河南部西医療圏の基幹病院、安城市の市民病院の役割を担っています。式典では職員から募集したフォトコンテストの投票が行われ、大賞には「安城更生病院の夏」が選ばれました。



JA愛知厚生連のニュースは随時配信中

Webサイトは
こちら



Instagramは
こちら



4
2025.APR

INFORMATION

／ 新年度がスタート!今年も受けよう／



健康診断 人間ドック



健康診断や人間ドックを効果的に受けるための3つのポイントをご紹介します。

01

健診・人間ドックは 定期的に受けよう

生活習慣病の初期は自覚症状がないこともあります。だからこそ定期的に健康診断を受けましょう。

02

自分に合った オプションを選択しよう

がん検診は必ず含め、年齢・性別・家族歴などを考慮しましょう。迷った時は健診施設に相談できます。

03

結果が届いたら 経年比較をしよう

数値の変化や傾向を把握し、基準範囲内であっても少しの変化に着目して、生活習慣の改善につなげましょう。

JA愛知厚生連の事業所で健診・人間ドックを受けられます

安城更生病院
予防医療センター



海南病院
健康管理センター



足助病院
健康管理センター



渥美病院
健康管理センター



豊田厚生病院
健康管理センター



知多厚生病院
健康管理支援センター



江南厚生病院
健康管理センター



稲沢厚生病院
健康管理センター



JA愛知厚生連
JAあいち健診センター



※詳細はQRコードからWebサイトをご覧ください。

FOR WEB



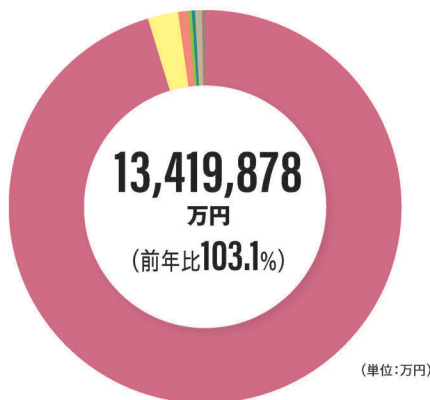
医療・健康・介護情報をわかりやすく発信

With Magazine

JA愛知厚生連が運営するWebマガジンです。医療・健康・介護に役立つ情報をお届けしています。



事業実績



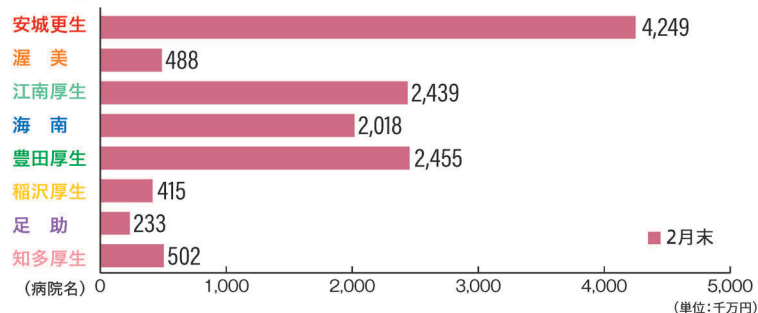
事業実績(2月末)

- 医業収益(除保健予防活動収益)
12,797,781(前年比103.3%)
- 保健予防活動収益
353,220(前年比101.5%)
- 老健施設運営収益
115,165(前年比101.7%)
- 介護医療院運営収益
21,088(前年比95.2%)
- 訪問看護収益
56,015(前年比101.0%)
- 老人福祉事業収益
60,094(前年比97.6%)

病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数 2月末
安城更生 (771)	外来	419,401
	入院	242,726
渥美 (316)	外来	124,662
	入院	78,591
江南厚生 (630)	外来	312,359
	入院	189,773
海南 (540)	外来	275,359
	入院	168,482
豊田厚生 (606)	外来	290,994
	入院	182,271
稲沢厚生 (225)	外来	129,626
	入院	61,162
足助 (148)	外来	54,604
	入院	43,234
知多厚生 (199)	外来	129,296
	入院	59,175
JAあい健診センター	外来	224
合計 (3,435)	外来	1,736,525
	入院	1,025,414

病院別診療収入



JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramこちら

